

第〇学年〇組 技術・家庭科（家庭分野）

学習指導案

実施期間 令和〇年〇～〇月

指導者 〇〇 〇〇

1 題材の構想

自立した消費者になるために1 内容C（1）ア イ

題材終了後の姿	消費生活における問題を見だし、その解決を図りながら、よりよい消費生活を自ら工夫し、責任ある消費行動をとろうとしている。また、持続可能な社会の構築に向けて、自分の消費行動が社会に与えている影響を考えながら消費生活を送ろうとしている。		
題材の目標	知識及び技能 購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性、売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解するとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	思考力、判断力、表現力等 物資・サービスの選択購入について問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。	学びに向かう力、人間性等 よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入について課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。
目標に向かうための手立て	<p>○「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」</p> <p>【めあて】 自分の消費生活をよりよくするための題材を通しためあてを各自設定できるよう、題材の導入時に、自分や家族の消費行動の問題を見だせるような画像や資料を準備する。また、各授業の中で題材全体のめあてを意識できるような時間を確保する。</p> <p>【振り返り】 生徒が既習事項を確認できるよう、資料や画像等授業支援アプリの資料箱に入れておく。生活を振り返り、生活に学びを生かすという教科の特質から「これまで」「今日の学び」「これから」の視点で振り返りを行う。また、学習シートに各時間の「振り返り」を蓄積することで、学習過程を改善していくこととともに生活の変化や成長を実感できるようにする。</p> <p>【対話】 模擬家族の消費生活における課題や改善策について、授業支援アプリ等を活用して班や全体で共有、吟味することで、自分の消費生活の課題解決につなげる。</p>		
子どもの実態 30人	ネット販売、電子マネーによる支払いを経験している生徒は7割と多いが、その特徴を理解したうえで活用している生徒は少ない。商品選択の際に少ない情報から決定しているという生徒が8割いる。	自分の消費生活における問題に気付いている生徒は7割と多いが、家族の消費生活の問題に気付いている生徒は2割と少ない。自分でプレゼンテーションアプリによる報告書作成ができる生徒は9割と多い。	学んだことを家庭で実践していると答えた生徒は8割と多いが、さらに改善して新たな課題を発見したり、生活を工夫したりしている生徒は1割と少ない。

題材の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ②売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解しているとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	①物資・サービスの購入について問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	①よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実現しようとしている。

指導と評価の計画（5時間取り扱い ●本時3/5）

課題等	次	時	主たる学習活動	評価する内容と方法等
銭の管理と購入を学ぶ 自立した消費者への道 1 計画的な金	1	1	○消費生活の問題を見だし、課題を設定する。	【思】①学習シート
	2	1	○売買契約の仕組みや購入方法、支払い方法の特徴について考え発表する。	【知】②学習シート 【主】①ポートフォリオ、観察
		1	●家計の収支バランスの調整方法を検討し、設定家族の金銭管理のアドバイスを行う。	【知】①学習シート
		1	○消費者トラブルを知り、未然防止策や消費者トラブル対応策について考え発表する。	【知】①学習シート 【思】①学習シート
	3	1	○適切な商品の選択と購入方法について考え、日常生活に活かすことを考える。	【思】①学習シート 【主】①ポートフォリオ、観察

2 本時の授業計画

(1) 本時の目標

多様な支払い方法に応じた計画的な金銭管理の必要性について理解することができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ・ICT 機器等
導入	5	1 前時の学習を振り返り、本時の学習課題を確認する。	○前時の学習を振り返ろう。 ・後払いは手数料がかかることがあった。 ○高額なものが欲しい時、どのようにしますか。 ・お小遣いを貯めて買う。 ・家族に相談する。	○前時の資料を授業支援アプリの資料箱に入れ、振り返りに活用する。 ○新たな買い物場面を提示し、めあての設定につなげる。	学習シート タブレット 電子黒板
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 金銭を計画的に管理する必要性について考えよう。 </div>			
展開	35	2 模擬家族の物資・サービスの購入について優先順位や支払い方法を検討する。	○模擬家族の情報を確認しよう。 ・テレビは必要だよ。 ・まずコンパスだろう。	○模擬家族の家族構成、購入したい物、家計の状況、手持ちのカード等の情報を提示し、根拠や理由を明確にして優先順位や支払い方法を検討できるようにする。	学習シート タブレット 電子黒板
		3 各自の意見を班で共有し、全体で発表する。	○なぜそうしたか、理由とともに意見を発表しよう。 ・分割での支払いがいい。 ・現金だと手数料など支払いがなくていい。	○メタモジ等を活用し、対話の活性化と意見集約の時短を図る。 ○見方・考え方カードを提示し考えを深める。	見方・考え方マーク (提示用)
終末	10	4 翌月以降の金銭管理において、模擬家族へのアドバイスを考え、発表する。	○周りの意見をもとに、翌月以降の金銭管理にアドバイスをしよう。 ・家族で相談して優先順位や支払い方法を考えよう。	○翌月以降の金銭管理について考えることで、記録や金銭の流れを把握する必要性に気付くようにする。 ◎【知】① 家計の現状を踏まえた具体的なアドバイスになっている。	学習シート タブレット 電子黒板
		5 本時を振り返り、気付いたことやわかったことをまとめ、発表する。	○これまでの生活、これからは生かすことなどの視点で授業の振り返りをしよう。	○本時のめあてに対する考えを記入できるよう、振り返りの視点を示す。	学習シート 電子黒板

中学校 家庭分野

中学校・技術・家庭(家庭分野)

第〇学年〇組 技術・家庭科(家庭分野) 学習指導案
実施期間 令和〇年〇～〇月
指導者 〇〇 〇〇

1 題材の構想

自立した消費者になるために1 内容C(1) アイ

<p>消費生活における問題を見だし、その解決を図りながら、よりよい消費生活を自ら工夫し、責任ある消費行動をとろうとしている。また、持続可能な社会の構築に向けて、自分の消費行動が社会に与えている影響を考えながら消費生活を送ろうとしている。</p>	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。	購買方法や支払い方法の特徴	購買方法や支払い方法の特徴	よりよい生活の実現に向けて

ポイント

題材終了後の児童の姿

題材終了後、これからの家庭科の学習や他教科等、実生活、将来に、本学習をどのように生かそうとする子どもを育成したいかを書く。

<p>自分の消費生活をよりよくするための題材を通しためあてを各自設定できるよう、題材の導入時に、自分や家族の消費行動の問題を見いだせるような画像や資料を準備する。また、各授業の中で題材全体のめあてを意識できるような時間を確保する。</p> <p>【振り返り】 生徒が学習事項を確認できるよう、資料や画像等ロイロノートの資料箱に入れておく。生活に学びを生かすという教科の特質から「これまで」「今日の学び」「これから」を行う。また、学習シートに各時間の「振り返り」を蓄積することで、学習と生活の変化や成長を実感できるようにする。</p>	<p>目標に向かうための手立て</p>
--	---------------------

ポイント

題材の評価規準

学習指導要領解説および国立教育政策研究所の「学習評価に関する参考資料」の内容をもとに具体的に分かりやすく記載する。

題材の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。</p> <p>②売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解しているとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。</p>	<p>①物資・サービスの購入について問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>①よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実現しようとしている。</p>

指導と評価の計画(5時間取り扱い)			
課題等	次	時	主たる学習活動
<p>①金銭の管理と購入を学ぶ</p>	1	1	○消費生活の問題を見だし、課題を設定する。
	2	1	○売買契約の特徴や消費者被害の背景とその対応について理解する。
	3	1	○家族の現状を踏まえた具体的なアドバイスを行う。

ポイント

評価する内容と方法
評価規準の観点と番号を合わせる

ポイント

課題等

資質・能力を育成するために効果的で、主体的な学習につながる題材を貫く課題等を設定する。

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考 ・ICT機器等
導入	5	1 前時の学習を振り返り、本時の学習課題を確認する。	○前時の学習を振り返ろう。 ・後払いは手数料がかかることがあった。 ○高額のもの欲しい時、どのようにしますか。 ・お小遣いを貯めて買う。 ・家族に相談する。	○前時の資料をロイロノートの資料箱に入れ、振り返りに活用する。 ○新たな買い物場を提示し、めあての設定につなげる。	学習シート タブレット 電子黒板
		<p>金銭を計画的に管理する必要性について考えよう。</p>			
展開	35	2 模擬家族の物資・サービスの購入について優先順位や支払い方法を検討する。	○模擬家族の情報を確認しよう。 ・テレビは必要だよ。 ・まずコンパスだろう。	○模擬家族の家族構成、購入したい物、家計の状況、手持ちの現金を提示し、優先順位や支払い方法を検討しよう。	学習シート タブレット 電子黒板
		3 各自の意見を班で共有し、全体で発表する。	○なぜそうしても意見を ・分割での支払い ・現金だと手 がなくていい		
		4 翌月以降の金銭管理において、模擬家族へのアドバイスを考え、発表する。	○周りの意見 以降の金銭管理にアドバイスしよう。 ・家族で相談して優先順位や支払い方法を考えよう。	○模擬家族の家族構成、購入したい物、家計の状況、手持ちの現金を提示し、優先順位や支払い方法を検討しよう。	○本時のめあてに対する考えを記入できるよう、振り返りの視点を示す。
終末	10	5 本時を振り返り、気付いたことやわかったことをまとめ、発表する。	○これまでの生活、これからは生かすことなどの視点で授業の振り返りをしよう。	○本時のめあてに対する考えを記入できるよう、振り返りの視点を示す。	学習シート 電子黒板

ポイント

本時の評価

・本時の目標と評価の整合性を図る。
・「Bと判断する状況」を具体的に明示する。

◎【知】①
家計の現状を踏まえた具体的なアドバイスになっている。